

令和元年度
観光農園経営力強化研修
成果報告書

令和2年3月9日



食と農業専門のコンサルティング企業
アグリコネクト株式会社

目次

I. 事業実施概要	・ ・ ・	P.2
II. 参加者について	・ ・ ・	P.12
III. 実施した各講座について	・ ・ ・	P.14
IV. 本年度事業の成果と次年度に向けて	・ ・ ・	P.28

I .事業実施概要

1. 目的と方針
2. 実施体制
3. 実施したカリキュラム
4. 講師の紹介
5. 募集チラシ
6. クラウドストレージを活用した支援

I.事業実施概要



1. 目的と方針

事業目的

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を控え、年々増加する訪日外国人旅行者や国際的な観光需要の高まり、首都圏に位置する地の利を活かした国内旅行者の観光ニーズに対応するため、県内観光農園の集客力や収益性向上、経営力の強化に資する研修を実施し、農山村地域の活性化に貢献する人材を育成する。

事業内容

県内の観光農園経営者などを対象に、自社農園における課題を捉え、その解決策や経営の将来像を描く経営戦略プランを作成、ブラッシュアップする研修を企画し、実施する。

- (1) 観光農園経営力強化研修の企画・運営
 - ア 集合研修
 - テーマ1「営業・情報発信力強化」
 - …国内観光客をターゲットとした観光農園の経営力強化
 - テーマ2「オリンピック・パラリンピックに向けたホスピタリティ強化」
 - …訪日外国人観光客をターゲットとした観光農園の経営力強化
 - イ 観光農園現地指導会・交流会
 - ウ 経営戦略プランのブラッシュアップ・プレゼンテーション
 - エ 広報物作成、参加者の取りまとめ
- (2) 研修参加後のフォローアップ・効果測定

実施した研修内容

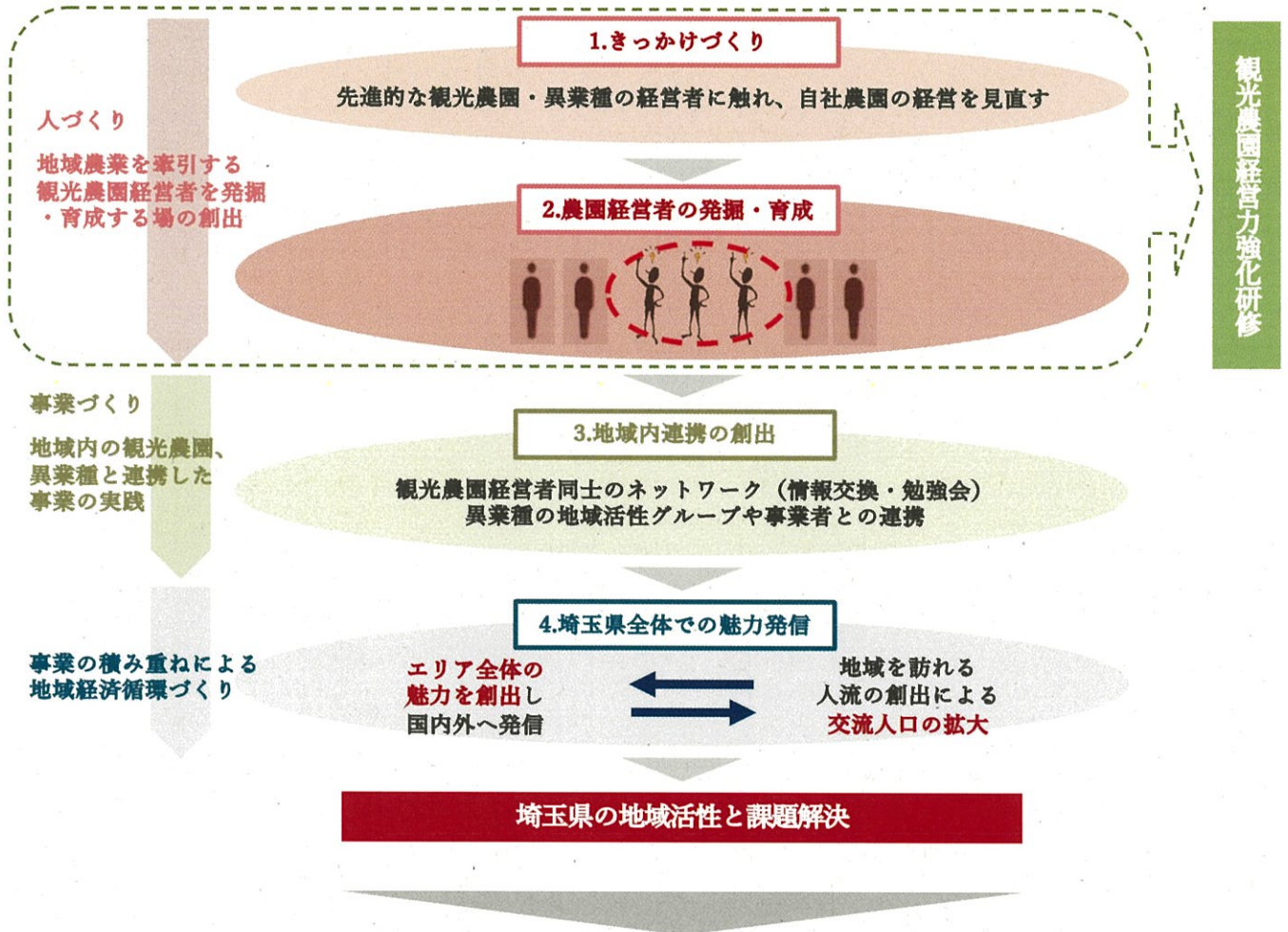
	実施日	実施内容	実施場所
令和元年	9月27日(金)	【情報発信力強化コース】第一回講座	秩父農林振興センター
	10月2日(水)	【ホスピタリティ強化コース】第一回講座	さいたま農林振興センター
	11月2日(土)～ 11月3日(日)	ジャパンハーヴェスト2019への出展	東京都 丸の内仲通り
	11月25日(月)	【情報発信力強化コース】第二回講座	秩父農林振興センター
	12月6日(金)	【ホスピタリティ強化コース】第二回講座	農業技術研究センター 久喜試験場
	12月9日(月)	【コース合同】第三回講座	TOKYO STRAWBERRY PARK、 山内ぶどう園
令和2年	1月6日(月)～ 2月13日(木)	経営改善プラン作成における個別支援	(電話、メール、テレビ会議など)
	2月14日(金)	【コース合同】第四回講座	大里農林振興センター

I.事業実施概要

1. 目的と方針

本研修の考え方

県内観光農園経営者への農業や観光農園にとどまらない幅広い視点、実践的なノウハウを提供することにより、観光農園を起点とした地域・業種を越えたエリア全体での魅力発信や食農観光関連での連携・事業づくりの実現が期待される。



本研修を通じ、地域経済活性化の推進において広く活躍できる、食・農・観光の視点を備えた“観光農園経営者”の発掘・育成を目指す

本事業で目指す姿

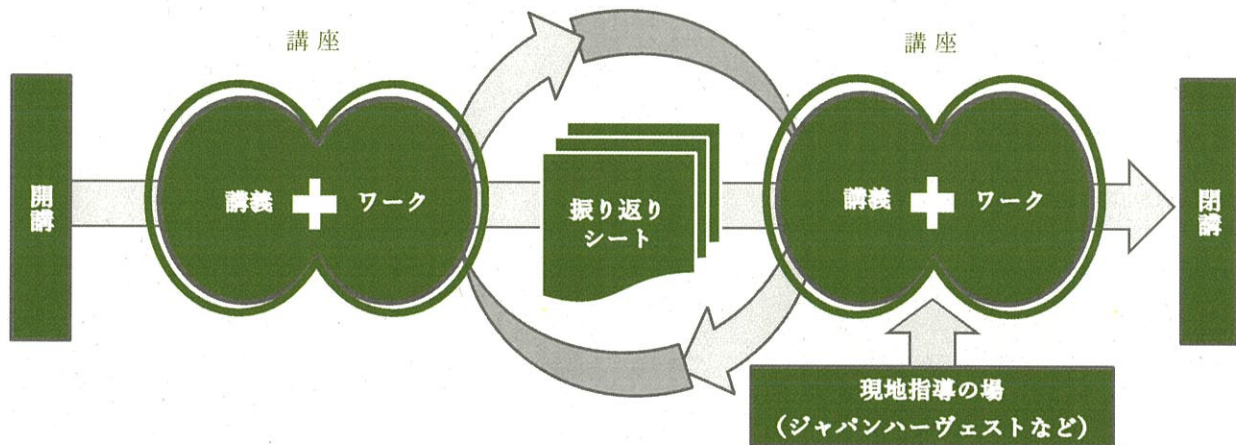
1. 埼玉県内で農業×観光の視点で経営を行なう意欲が高い観光農園経営者の発掘・育成をする
2. 横の繋がりが薄い観光農園経営者同士が自己開示をし、お互いを知ることによって、連携するきっかけをつくる
3. 自身が目指したい観光農園像を思い描き、実現に向けて実行する

I. 事業実施概要

1. 目的と方針

本研修のポイント

(1) カリキュラムの基本構成
本研修では、地域を牽引する力・自ら考える力を養うために、一方的に講義を受けるセミナー形式ではなく、先進的な観光農園経営者や専門家による「①講義」、自社農園経営について深める「②ワーク」の2つで構成した。また、各講座後、自宅に帰ってから講座内容を整理する「振り返りシート」を通じ、知識の定着を図った。



(2) 講座の基本構成
各講座は「講義（質疑応答含む）」「振り返り」「発表」の3つの要素で構成。また、各回1名のティーチングアシスタント（コーディネーター）を配置し、参加者の学びやディスカッションの進行をサポートした。

講義	各テーマに沿って、参加者のモデルとなる観光農園経営者や専門家の講師が講演および講義を実施する
振り返り	2～5名程度に分かれ、講演および講義を受けての振り返りを行なう
ワーク	講義のテーマに沿ったワークを行なう
	各回1名のティーチングアシスタントを配置し、参加者の学びをサポートする

ティーチングアシスタント（コーディネーター）*以下、TA

- ✓ 振り返りやワークの際に、農園経営支援の経験を持つ専門家がTAを担う
- ✓ TAの主な役割は以下である
 - ①各参加者の理解度に応じて、質問への回答や具体的事例を用いた解説を行ない参加者の学び・気づきを与え、講師と参加者の間を埋める
 - ②ワークにおいては、適宜議論を正しい方向へ誘導する

(3) 経営改善プラン作成における個別支援
農家や農業法人の支援を行っている当社のコンサルタントにより、電話またはメールなどを通じて各参加者の経営改善プラン作成を支援した。

I. 事業実施概要

2. 実施体制



- 農業ビジネスの現場で支援を行なうコンサルタントなど、8名以上で参加者の学びをサポート

全体コーディネート・監修

代表取締役社長 熊本 伊織

統括 (TA)

農業経営支援事業部 マネージャー 大野 一成

企画・運営補助員

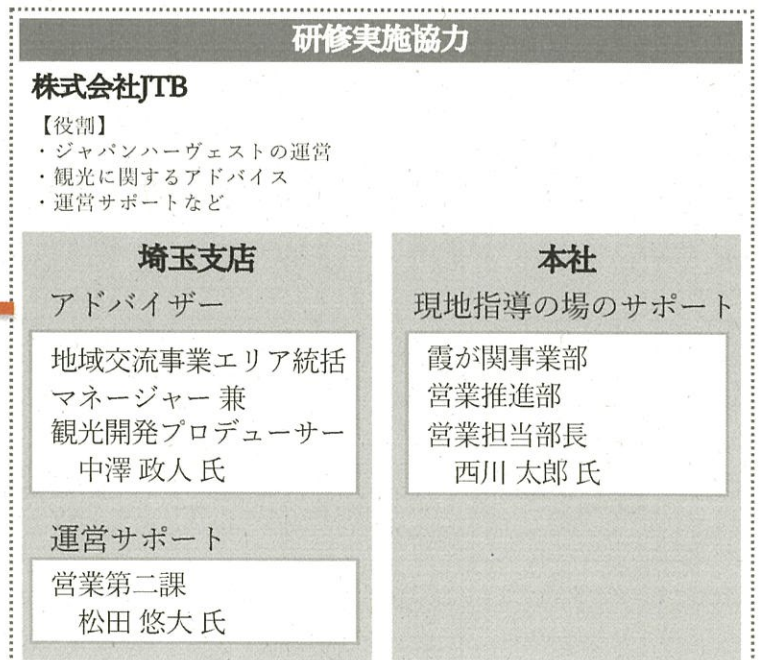
コンサルタント 岩崎 淳子
 コンサルタント 山口 ひとみ

運営事務局・経理担当

コーポレート事業部 リーダー 沓脱 彩子

実施体制図

埼玉県農林部
 農業ビジネス支援課農地活用担当



I. 事業実施概要

3. 実施したカリキュラム



日程	回	テーマ	内容	講師
情報発信力強化コース				
9月 27日 (金)	第一回	観光農園経営者にとって大切な考え方とは？地域に呼び込む実践者が教える取組み方法	【講演】 ・経営力強化へ向けた心構え・先進事例からの学び ・地域連携による魅力創造・地域の情報力強化 【ワーク】 自社農園の強みの整理	アグリコネクト株式会社 代表取締役社長 熊本 伊織 株式会社瀬戸内ジャムズガーデン 代表取締役 松嶋 匡史 氏
11月 25日 (月)	第二回	県外の観光農園が実行している、自社の強みと地域の強みを活かした集客の考え方	【講演】 ・個性と多様性を活かし、農業を通じて人と地域を灯す ・集客力強化で儲かる観光農園を目指そう 【ワーク】 自社農園の課題整理と今後の取り組みの検討	株式会社アグリスリー 代表取締役 實川 勝之 氏 株式会社JTB埼玉支店 地域交流事業エリア統括 マネージャー兼観光開発 プロデューサー 中澤 政人 氏
ホスピタリティ強化コース				
10月 2日 (水)	第一回	多くのインバウンド客を受け入れる事業者が考える、観光農園・観光サービスの真髄	【講演】 ・経営力強化へ向けた心構え・先進事例からの学び ・事例から学ぶホスピタリティ。先進農園のインバウンド受け入れ・商品づくり 【ワーク】 ペルソナの設定	アグリコネクト株式会社 代表取締役社長 熊本 伊織 株式会社THE FARM 営業部長 毛利 公紀 氏
12月 6日 (金)	第二回	日本人・外国人が観光農園に求めるおもてなし、観光のプロが教える実践術	【講演】 ・マーケティング思考で考える観光振興と「おもてなし」の考え方 ・インバウンド客が求めるおもてなし Japan Fruitsからみた日本の観光農園 【ワーク】 自社農園の課題整理と今後の取り組みの検討	株式会社JTB総合研究所 コンサルティング事業部 交流戦略部部长 主席研究員 山下 真輝 氏 株式会社JTB 霞が関事業部 営業1課 マネージャー 安海 徳哲 氏
コース合同				
12月 9日 (月)	第三回	先進農園への視察、交流会	【視察】 ①TOKYO STRAWBERRY PARK (神奈川県) ②元木農園 (神奈川県) or 山内ぶどう園 (東京都)	
2月 14日 (金)	第四回	自社農園の魅力発信チャレンジ	【発表】 20分×8名	日本政策金融公庫さいたま支店 農林水産事業統轄 錦織 秀一 氏 株式会社JTB埼玉支店 地域交流事業エリア統括 マネージャー兼観光開発 プロデューサー 中澤 政人 氏 アグリコネクト株式会社 農業経営支援事業部 マネージャー 大野 一成

I. 事業実施概要

4. 講師の紹介 (1/2)



アグリコネクト株式会社

情報発信力強化コース 第一回講師 ホスピタリティ強化コース 第一回講師

アグリコネクト株式会社
代表取締役社長 熊本 伊織

農業コンサルティング事業の立ち上げなどを経験し、2013年に起業。経営者育成、地域リーダー育成に関しては、熊本県「くまもと農業養成研修」「山都町食農観光研修」「信州農業MBA研修」「宮崎次世代農業トップランナー養成研修」「さが農村ビジネス経営研修」など多数。平成30年には、熊本県山都町にアグリコネクト山都株式会社を設立。地域に根ざした支援を推進している。



全講座 TA コース合同 第四回講座アドバイザー

アグリコネクト株式会社
農業経営支援事業部
マネージャー 大野 一成

同社が行なう人材育成事業の運営統括を担当しており、年間100名を超える農業経営者の事業計画作成を支援している。また、産地と実需者を繋ぐ国・自治体のビジネスマッチング事業を数多く手がけており、そのなかで培った実需企業バイヤーとのリレーションを活かし、マーケットのニーズを捉えた生産者向け商談・販売戦略研修や商談コーディネートの実績を多数有する。



情報発信力強化コース 第一回講師

株式会社瀬戸内ジャムズガーデン
代表取締役 松嶋 匡史 氏

2001年に新婚旅行先のパリでコンフィチュール専門店に魅せられ、周防大島で手作りジャム専門店を起業。年々異なる果実の味わいを活かした高品質なジャムづくりに取り組んでいる。また、自社の利益優先ではない里山資本主義的取り組みに邁進。農家や地域事業者を巻き込んだジャムづくりで、地域に持続可能な経済循環と雇用先の創出に取り組んでいる。6次産業化大臣賞を受賞。



情報発信力強化コース 第二回講師

株式会社アグリスリー
代表取締役 實川 勝之 氏

千葉県でパティシエとして活躍後、父親の怪我をきっかけに農園の継承を決意し、2011年に株式会社アグリスリーを創業。梨・米・野菜の生産、加工、販売、カフェ、農業コンサルタントと多角的に事業を展開。生産するだけの農園ではなく、公園のように地域を守り、守られ、誰からも愛される「アグリパーク」の創出を目指している。



情報発信力強化コース 第二回講師 コース合同 第四回講座アドバイザー

株式会社JTB埼玉支店
地域交流事業エリア統括マネージャー兼
観光開発プロデューサー 中澤 政人 氏

長野県エリア担当として県や自治体のプロモーション営業を担当。その後、東北地域における旅行造成商品宣伝をメインに、海外旅行促進プロモーションを担当。以降、関東圏域で消費者向け宣伝販促やイベントの実施、自治体への政策提言、地域産業支援、食農事業の推進、開発を担当。現在は埼玉支店にて県内における地域交流事業の推進、開発を担当している。



I. 事業実施概要

4. 講師の紹介 (2/2)



アグリコネクト株式会社

ホスピタリティ強化コース 第一回講師

株式会社THE FARM
営業部長 毛利公紀氏



2013年7月にオープンした、和郷園グループの農園リゾート「THE FARM」は、豊かな自然に囲まれた絶好のロケーションでコテージ、貸農園、カフェ、BBQ広場、温泉施設などの施設を展開している。グランピング黎明期に導入した「THE FARM CAMP」や日本では数少ない北欧発祥のアウトドア「ブッシュクラフト」など、そこでしか体験できないものが集まる施設となっている。

ホスピタリティ強化コース 第二回講師

株式会社JTB総合研究所
コンサルティング事業部
交流戦略部部長 山下真輝氏



2010年より同社の「地域交流プロジェクト」の推進にあたり、全社戦略の策定や人材育成に取り組む。また観光庁、経済産業省、文科省などの中央省庁における観光立国に関する様々な政策にも関わっている。現在は内閣府地域活性化伝道師として、全国各地の観光による地域活性化事業、人材育成、東北復興支援事業、農林水産業における六次化支援事業などに携わる。

ホスピタリティ強化コース 第二回講師

株式会社JTB 霞が関事業部
営業1課マネージャー 安海徳哲氏



自社が運営する、外国人向け観光農園紹介サイト「Japan Fruits」の統括を行なう。外国人観光客からもフルーツ狩りの人気は高く、サイト上でフルーツ狩りの予約を行なうことも可能。

コース合同 第四回講座アドバイザー

日本政策金融公庫さいたま支店
農林水産事業統轄 錦織秀一氏



農林水産業事業における経営改善の取り組みや、新たに農業を始める方へ融資などの支援を行なう。平成29～30年度の研修においてもアドバイザーを務める。

I. 事業実施概要

5. 募集チラシについて



アグリコネクト株式会社

- 参加者の募集にあたり、募集チラシを作成した
- 県を經由し、平成29～30年度の研修参加者、養液いちご研究会会員、グリーン・ツーリズム埼玉登録者、県内自治体へチラシを発送。その後、弊社から本研修の内容説明や申し込み方法についてフォローを実施した

農業の魅力で地域を元気に！
魅力ある観光農園を目指す！

令和元年度
**観光農園
経営力強化研修**

受講生募集

参加費
無料
※要申込

※研修の内容及び日程は変更する場合がございます。予めご了承ください。
※本チラシで使用している写真はイメージです。

観光農園の経営に必要な情報発信、インバウンド対応などを学ぶ4日間の研修です。
コースは「情報発信力強化コース」と「ホスピタリティ強化コース」の2種類。
経営に活かせる実践方法を身に付けて、儲かる観光農園を目指しましょう！

情報発信力強化コース	ホスピタリティ強化コース
<p>9/27(金) 開始</p> <p>国内観光客をターゲットとして事業を行う方向けの研修コースです。 講座を通じて、経営分析力、コンテンツ企画力、情報発信力などを学びます。</p> <p>こんな方におすすめ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社農園への集客を増やしたい方 ・自社農園の経営を見直したいと考えている方 ・消費者から選ばれる観光農園を目指したい方 	<p>10/2(水) 開始</p> <p>インバウンド（訪日外国人）をターゲットとして事業を行う方向けの研修コースです。 講座を通じて、経営分析力、インバウンドのニーズ把握力、接客-おもてなし力などを学びます。</p> <p>こんな方におすすめ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対応を強化していきたい方 ・自社農園への集客につなげたいと考えている方 ・インバウンドが来園したときの対応が得意な方

観光や農業経営等の専門家による「講座」

自社農園への過ごし方を考える「ワーク」

観光農園への集客方法を学ぶ「実践」

研修事項

対象者
・県内で観光農園を営んでいる方
・各コースそれぞれすべての日に参加できる方（原則）

募集人数
・各コース25名程度
※各コースごとに申し込み枠は限られており、抽選による参加となります。

主催：埼玉県 農林部 農業ビジネス支援課
運営：アグリコネクト株式会社

研修スケジュール

1. 情報発信力強化コース	2. ホスピタリティ強化コース
<p>第1回</p> <p>観光農園経営者にとって大切な考え方とは？ 地域に人を呼び込む実践者が教える取り組み方法。</p> <p>ゲスト講師 農産物を売るにはどうやって消費者と繋がるか 「観光農園」の成功事例を学ぶ 1,300人以上の観光客を集める経営コンサルタント アグロネット 代表取締役社長 熊本伊織氏</p> <p>日時：令和元年9月27日(金)13:00～17:00 会場：秋又農林振興センター大会議室</p>	<p>多くのインバウンドを受け入れる準備が整っている。 観光農園-観光サービスの構築。</p> <p>第1回</p> <p>ゲスト講師 グランドホテル 営業部長 中山山次氏 1,300人以上の観光客を集める経営コンサルタント アグロネット 代表取締役社長 熊本伊織氏</p> <p>日時：令和元年10月2日(水)13:00～17:00 会場：秋又農林振興センター</p>
<p>第2回</p> <p>県外の観光農園が実行している。 自社の強みと地域の強みを生かした接客ノウハウ。</p> <p>ゲスト講師 観光農園経営者として成功を収めた方 アグロネット 代表取締役社長 中山山次氏 日本全国の観光農園のトレンドを詳しく学ぶ NITE 埼玉支店 観光農園アドバイザー 兼 マネージャー 中津良人氏</p> <p>日時：令和元年11月25日(月)13:00～17:00 会場：秋又農林振興センター大会議室</p>	<p>インバウンドが求める"おもてなし"とは？ ホテル従業員にも研修する講師が教える実践術。</p> <p>第2回</p> <p>ホテル従業員等に研修を行う「観光農園」の専門家 NITE 埼玉支店 生活支援課 山下美穂氏 インバウンド向け観光農園研修センター 専任講師 NITE 観光振興部 安海博典氏(Japan Fruits 担当)</p> <p>日時：令和元年12月4日(金)13:00～17:00 会場：埼玉県農業自衛隊研修センター 研修室</p>
<p>第3回</p> <p>【コース合同】 先進農園への視察と交流会 遊びに行かずに学びたい方、 農園での取り組みや考え方を特別に伝授。</p> <p>日時：令和元年12月に実施予定 会場：各農園</p>	<p>訪問先：県内農園（未定） ※受講生の希望を踏まえて決定いたします。 ※参加費等は各農園へ事前申込みの際に詳細を申し上げます。</p>
<p>第4回</p> <p>【コース合同】 自社農園の魅力発信チャレンジ これまでの学びを踏まえて、自社農園の魅力を コミュニケーションで伝えてみよう！</p> <p>日時：令和2年3月に実施予定 会場：研修中</p>	<p>コンディナー：アグリコネクト 代表取締役社長 熊本伊織氏 等 ※受講生の力が発揮できるような研修を行います。</p>

「お試しをしてみたい！」という方へ、実践の場もご用意しています

「ジャパンハーベスト2019」
今の自社農園の魅力を体験！
都心部で国内外のお客さまに向けて開催します！
※お申し込みは本場にてお願いいたします。

日時：令和元年11月2日(土)～3日(日)11:00～16:00
会場：丸の内体育館 第1ホール(東京都)

「ジャパンハーベストとは」
国内農林水産物の消費拡大に向けて、農作物の観光や
農業体験-農業体験、食のコンテストなどが行われ、
生産者と消費者が交流できる"食と農の交流の場"。
2012年に開催となるイベントが開催され、2019年で8回
目を迎える。昨年の来場者数は約13万人。

FAX申込書 申込締切り：9月13日(金)

参加ご希望の方は下記にご記入の上、☎03-6369-3185 までお申し込みください。

希望コース (○を付するものを記入)			
1. 情報発信力強化コース ・ 2. ホスピタリティ強化コース			
ふり仮名 お名前	年齢	歳	居住地 (都府県/地区)
農園-法人名 役職		品目	
電話番号	Eメール アドレス		

問合せ先：アグリコネクト株式会社（担当：山口・岩崎・大野） TEL：03-3572-3667

I. 事業実施概要



6. クラウドストレージを活用した支援

- クラウドストレージサービス（グーグルドライブ）を活用し、全講座の資料及びVTRを出欠状況に関わらず全参加者が閲覧できるようにした
- クラウドストレージサービスを利用することで、参加者は空いた時間に資料及びVTRを自宅で閲覧することができるため、本研修へ申込みはしたものの諸事情により出席できなかった方々にも活用していただけたと考えられる

